

# 外来語由来の接尾辞「チック」と類義語との比較

村中淑子（桃山学院大学 国際教養学部）<sup>†</sup>

## The Use Situation of Japanese Suffix *chikku* Derived from English "-tic" and its Synonym

Toshiko MURANAKA (Faculty of International Studies and Liberal Arts, St. Andrew's University)

### 1. はじめに

外来語が日本語の語彙において重要な地位を占めつつあるという指摘はなされているが、その多くは、単語レベルの現象に着目したものである。しかし、日本語の語彙の動的な実態ということを考えた場合、単語を作り出す接頭辞・接尾辞レベルの外来語に関する研究も必要なのではないかと思われる。

本発表では、接頭辞・接尾辞レベルの外来語に関する研究の一環として、外来語由来の接尾辞「チック」に焦点を当て、類義語との比較も交えつつ、考えてみたい。

野村（1977）は「外来語が（中略）造語能力をもつものとして、漢語につぐ存在となりつつある」と述べており、単語を作り出す造語成分としての外来語に注目している。石野（1992）は英語の接尾辞を含む日本語として「アルバイター」「おとめチック」「がんばリズム」「にやリスト」「キャッシング」「スキンシップ」「ファンタジック」「サイノロジー」を挙げ、日本語として形がはっきりしているのは「チック」「シップ」であるという。米川（1992）は、英語からの接尾辞「チック」は造語力がある、と述べている。しかし接尾辞「チック」の使用実態について詳しく調べたものはほとんど見あたらない。おそらく周辺の現象にすぎないとみられているためであろう。

### 2. 接尾辞「チック」について

接尾辞チックの語形と文法的性質について、最大公約数的にまとめると次の通りである。

造語成分として働いているものではなく、外来語の一部をなすものとしては、「チック」と「ティック」という表記・音声両面にわたる2種のバリエーションがあるが（ロマンチック／ロマンティック、ドラマチック／ドラマティック、オートマチック／オートマティックなど）、日本語の中で新たなことばを作り出す、すなわち造語力を持つ成分としては、「チック」の形だけである（おとめチック／×おとめティック、漫画チック／×漫画ティック、おばさんチック／×おばさんティック、など）。

通常、前接要素として名詞をとり、ナ形容詞を形作る。

すなわち、「名詞チックな被修飾要素」という形で使われる。

### 3. 接尾辞「チック」の使用実態

#### 3. 1 15年間の新聞記事における接尾辞「チック」

接尾辞「チック」はどのくらいの頻度で、どのような分野において使われているのか。

まず、15年間の毎日新聞全記事において接尾辞「チック」が使われた回数を、表1にまとめた（ここで用いた「CD-毎日新聞」（1991～2005）は、学術研究向けのタグ付きテキストデータではなく、一般コンシューマー向け商品である）。

<sup>†</sup> tmuranaka@andrew.ac.jp

15年間で39件、1年あたり平均2.6件とごく低頻度であるが、使われていない年は無く、安定的・継続的な使用が行われていると言ってよいだろう。

前接要素としては、「漫画」「乙女」の類が約半数を占めている。この2つについては、チックのついたナ形容詞の形が固定化し、語単位で定着したと考えられる。それ以外のものについては、造語力を発揮して新しい語をその場その場で作り出しているものであろう。

表1：毎日新聞全記事における「～チック」の語形と出現度数の推移<sup>1</sup>  
(2回以上出現した場合は、語形の後ろに回数を示した)

	漫画系	乙女系	SF系	その他	計
1991	漫画チック				1
1992	漫画チック	乙女チック	SFチック 3		5
1993	漫画チック 2				2
1994		乙女チック	SFチック	演歌チック	3
1995	劇画チック				1
1996	少女漫画チック	乙女チック		成金チック	3
1997	漫画チック 2			小説チック	3
1998		少女チック			1
1999	漫画チック 2				2
2000				おもちゃチック 変態チック レトロチック	3
2001	漫画チック	乙女チック		古典チック 劇場チック	4
2002	漫画チック			おばちゃんチック	2
2003		乙女チック		反動チック 絵画チック SMチック	4
2004				映画チック	1
2005	漫画チック 少女漫画チック			絵画チック 2	4
計	14	6	4	15	39

これらの出現した新聞記事をみると、本・映画・演劇・テレビ番組・音楽などの紹介記事、エッセイ類、投稿欄、芸能人等へのインタビュー記事、などにはほぼ限定されていた。つまり、娯楽提供を目的とする新聞記事において接尾辞「チック」が出現すると言ってもよさそうである。

### 3. 2 「中納言」における接尾辞「チック」

次に、新聞も含めた現代日本語の書きことば全体で接尾辞「チック」がどれくらい使われているのか調べるために、「中納言」によってBCCWJを検索し、得られた「～チック」の語形を全て表2に示す。「～チック」がゼロであったサブコーパス「新聞」「教科書」「白書」「広報紙」「法律」「韻文」「ベストセラー」は表にしていない。また、サブコーパスごとのデータ発行年の幅が1年間～35年間とばらばらなので、経年変化は見ないこととする。

表2を見ると、前接要素のバラエティがたいへん豊かであり、「チック」の造語力の強さがうかがえる。異なり件数68、延べ件数117である。ここで検索された「チック」の前接

<sup>1</sup> 表1・2・3は村中(2012)から引用している。

要素には、毎日新聞記事データには見られなかった特徴がみられる。次の3つである。

- ①「チック」の前接要素は、名詞ではなくナ形容詞である場合もある
- ②「チック」の前接要素は、固有名詞である場合もある。
- ③「チック」の前接要素は、語ではなく句である場合もある。

①は、異なり件数 68 のうち、8 件。インスタント、おしゃれ、高級、スキャンダラス、面倒、妖艶、リアル、レトロ、である。「名詞+チック」でナ形容詞を形成するのではなく、「ナ形容詞+チック」でナ形容詞となっている。つまりこれら 8 件は、文法的にはチックが余剰的についているものである。Yahoo!ブログ、Yahoo!知恵袋、雑誌、国会会議録、の 4 つのサブコーパスに見られる。

②は、異なり件数 68 のうち、3 件。「楳図さん」「聖子ちゃん」「ムネオ（鈴木宗男）」である（「セーラー服とほにゃらら編」も「セーラー服と機関銃」を意味しているとすれば固有名詞として数えてもいいかもしれない）。Yahoo!ブログと国会会議録に見られる。

③は、異なり件数 68 のうち 2 件。「日本の銭湯」「セーラー服とほにゃらら編」であり、それぞれ生産・書籍と Yahoo!ブログに出現した。前者は対談における発言中であった。口語性の強いテキストでは句に接尾辞「チック」がつくことが許容されるのだと考えられる。

また、15 年間の毎日新聞記事データには見られなかったが BCCWJ に多く見られた語形として「メルヘンチック」がある。これもナ形容詞として定着した語形とみてよいだろう。

表 2：BCCWJ「中納言」における「～チック」の語形

(語形のアイウエオ順。2 回以上出現した場合は語形の直後に出現回数を記した。計は、延べ数。)

Yahoo! ブログ	アニメチック 2、インスタントチック、楳図さんチック、お菓子チック、オカマチック、オカルトチック、乙女チック 4、おまけチック、喫茶店チック、ギャグチック、ギャルチック、求肥チック、クワガタポイントチック、劇画チック、高級チック、サスペンスチック、サバイバルチック、首都圏チック、聖子ちゃんチック、制服チック、セーラー服とほにゃらら編チック、低音チック、展望台チック、天ぶらチック、箱庭チック、パワフルガールズチック、変態チック、マンガチック、漫画チック、ミリタリチック、ミルフィーユチック、メビウスチック、メルヘンチック 6、やらせチック、夕日チック、リアルチック、レトロチック	計 46
流通・ 書籍	英語チック、オカルトチック、オトメチック 2、乙女チック 4、芸術チック、童画チック、変態チック、ポルノチック、マンガチック、メルヘンチック 6、物語チック、理系チック	計 21
生産・ 雑誌	アジアチック 3、SFチック、お菓子チック、おしゃれチック、女のこチック、歌謡曲チック、サラシモノチック、少女漫画チック、南国チック、姫チック、マンガチック 2、漫画チック、水商売チック、妖艶チック、レトロチック	計 18
生産・ 書籍	SFチック、オカルトチック、古典チック、自動車チック 2、日本の銭湯チック、廃墟チック、マンガチック 2、メルヘン・チック、メルヘンチック 6	計 16
Yahoo! 知恵袋	アジアチック、オカルトチック、お嬢様チック、刈上げチック、カルトチック、金属チック、高級チック、コントチック、哲学チック、東北弁チック、メルヘンチック 2、面倒チック、ヤンキーチック	計 14
国会 会議録	スキャンダラスチック、ムネオチック	計 2

表2で「～チック」の出現度数を見ると、Yahoo!ブログが圧倒的に多く、書籍、雑誌、Yahoo!知恵袋がおおよそ同程度にみえるが、サブコーパスごとの総語数はかなり異なる。そこで、各サブコーパスの総語数と、総語数を1000万語に換算した出現の割合（小数点以下第3位を四捨五入）を示したのが表3である。流通・書籍と生産・書籍をまとめて「書籍」とした。比較のため、「新聞」も示した。これをみると、接尾辞「チック」の出現割合は、「Yahoo!ブログ」が最も多く、「雑誌」もそれに迫る多さである。その3分の一程度の割合で「Yahoo!知恵袋」が続き、「書籍」はさらにその半分以下となる。

表3：接尾辞「チック」の出現度数とサブコーパスごとの出現率

サブコーパス	ブログ	書籍	雑誌	知恵袋	国会	新聞
出現度数	46	37	18	14	2	0
総語数（概数）	1030万	6230万	440万	1030万	510万	140万
1000万語あたりの出現率（概数）	44.66	5.94	40.91	13.59	3.92	0

### 3. 3 接尾辞「チック」の使用実態についてのまとめ

接尾辞「チック」はかなり強い造語力を持ち、次々にあたらしいナ形容詞を形成している。漫画チック・乙女チック・メルヘンチックについては語単位で定着しているといっておよさそうだが、そのほかのものは、「チック」の造語力によりその場その場で新しく作られている。低頻度であるが、少なくとも15年間、安定的・継続的な使用が行われている。

通常、「普通名詞チックな被修飾要素」という形で使われるが、前接要素が固有名詞であったり、ナ形容詞であったり、語でなく句であったり、というケースも生じている。すなわち、前接要素についての許容範囲が広がりつつある。

新聞においては、娯楽提供を目的とする記事に接尾辞「チック」が出現している。そのほかの媒体では、ブログや雑誌に多く出現している。すなわち、口語的なくだけた親しみやすいテキストで、評価的な内容を記述する際によく使われるということであろう。

## 4. 接尾辞「チック」と類義語との比較

### 4. 1 接尾辞「チック」とその類義語

接尾辞「チック」の類義語として、「的」「～(っ)ぽい」「ライク」などが挙げられる。いずれも、普通名詞 (っ)ぽい／的／チックな／ライクな 被修飾要素 の形で使用することが可能である。次に具体例を挙げる。

表4：「(っ)ぽい」「的」「チック」「ライク」の比較

女の子(っ)ぽい服装	論文(っ)ぽい書き方	ホテル(っ)ぽい内装
女の子的服装	論文的な書き方	ホテル的服装
女の子チックな服装	論文チックな書き方	ホテルチックな内装
女の子ライクな服装	論文ライクな書き方	ホテルライクな内装

比べてみると、「(っ)ぽい」は柔らかい感じ、「的」はやや固い感じがある。「チック」はやや子供っぽいような、揶揄するようなニュアンスが感じられる。「ライク」はしゃれた感じで軽さがあるが、「チック」のように子供っぽくはなく、揶揄するようなニュアンスも

無い。

外来語は、一般に、西洋風／近代的／しゃれた／モダン／カッコ良さ／明るさ、などの性質を持つと言われる。しかし、接尾辞「チック」については、「明るさ」以外はあまり当てはまらず、「明るさ」もあまりぴったりした形容ではない。「子供っぽさ」「滑稽味」「揶揄」といったニュアンスを持つ。それはなぜだろうか。／チック／という音声の並びがそのように感じさせるのだろうか。

子供っぽいニュアンスがあるとは言っても、使用者の中には、年配男性の国会議員（BCCWJの例）や、中年のプロ野球選手、中高年の主婦、芸術家男性など（毎日新聞記事の例）が含まれている。決して若者言葉ではなく、ぶりっ子のことばでもないのである。

#### 4. 2 接尾辞「～ライク」について —「中納言」による検索結果—

「チック」とおなじく外来語由来の接尾辞である「ライク」について、「中納言」で検索した結果を示す。

表5：BCCWJにおける「～ライク」の出現数

雑誌	流通・書籍	生産・書籍	ベストセラー	Yahoo! 知恵袋	Yahoo! ブログ	計
43 (メンズ20、 レディ6、 ビジネス1)	20 (ビジネス 17)	15 (ビジネス8、 レディ1)	2 (ビジネス 2)	6 (ビジネス 3)	5 (ビジネス1、 レディ1)	91

「ビジネスライク」の語形が定着しているほか、メンズライク・レディライクがファッション用語としてある程度定着しているようである。カジュアルライク・スポーツライク・デジカメライク・乗用車ライクなど、頻度1のものが22件あり、趣味の道具などの分野で造語力を発揮しているようである。

#### 4. 3 接尾辞「的」について

南雲（1994）および丸山（1997）によると、接尾辞「的」は、次のような性質を持つ。  
ア) 分野によっては使用される度合いが異なる。（『中央公論』1962年11月号においては、政治、経済、文化一般、教育に多く、社会問題、科学などでは少ない。『中央公論』1992年11月号においては、政治経済に多く、文芸・広告で少ない。）

イ) 「的」の前につく語は語種では漢語が圧倒的に多く、文字では漢字が多い。

ウ) 専門分野によって、特定の語が繰り返し使用される傾向がある。

「的」の使用頻度は「チック」に比べて桁違いに高いので、「的」の使用の「少ない」分野であっても、「チック」の使用よりは多いのである。「的」が使われない分野を埋める形で「チック」が入り込んで来たのかどうかについては、今後検討する必要がある。

#### 4. 4 接尾辞「(っ) ぽい」について

小原（2010）は、BCCWJ2009を用いて、接尾辞「(っ) ぽい」について調べている。「(っ) ぽい」の新規用法、すなわち「(っ) ぽい」が文や句の後ろに接続する例を中心に述べられている。「チック」と同様、口語的なテキストで多く使われていること、臨時的な用法、す

なわち造語力が発揮されている例が多く見られること、が明らかにされている。

## 5. おわりに

外来語由来の接尾辞「チック」は、使用範囲が狭く、低頻度ではあるが、造語力を強く発揮する接尾辞として安定的使用がみられる。

外来語の役割として、「外国文化の享受」「新たな概念の導入」などがあるといわれるが、接尾辞については、それらは当てはまらないであろう。外来語由来の接尾辞の場合は、「モノは同じでも新しいニュアンスを加える」という役割しか持たないように思われる。そのニュアンスが、なぜ、どのように生じて来たのか。

今後、類義語との違いを詳しく検討し、明らかにしていきたい。

## 文献

- 石野博史 (1992) 「外来語の造語力」『日本語学』11:5, pp.42-49.
- 小原真子 (2010) 「接尾辞「-ぼい」について」『島大言語文化：島根大学法文学部紀要言語文化学科編』29, pp.59-76.
- 南雲千歌 (1994) 「現代日本語の「～的」について」-雑誌『中央公論』1992年11月号の場合『ICU日本語教育研究センター紀要』3, pp.72-98.
- 野村雅昭 (1977) 「造語法」『岩波講座日本語9』岩波書店, pp.247-284.
- 野村雅昭 (1984) 「語種と造語力」『日本語学』3:9, pp.40-54.
- 丸山千歌 (1997) 「英語の接尾辞”-tic”の訳語「～的」について」-『中央公論』1962年11月号の場合-『ICU日本語教育研究センター紀要』6, pp.15-42.
- 村中淑子 (2012) 「接尾辞「チック」について—「CD-毎日新聞」(1991-2005)およびBCCWJを用いて—」『国際文化論集』45号, pp.115-144. (桃山学院大学 総合研究所)
- 米川明彦 (1992) 「新語と造語力」『日本語学』11:5, pp.50-57.

## 資料

- 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(略称 BCCWJ) 検索ツール 短単位検索 Web アプリケーション「中納言」 URL : <http://chunagon.ninjal.ac.jp/search>
- 『CD-毎日新聞』(1991～2005) 日外アソシエーツ
- 『毎日新聞 縮刷版』毎日新聞社